



ビルダー様へ：このしおりは必ずお客様にお渡しください。

ご使用前にこのしおりをよくお読みください。又、このしおりは大切に保管してください。

熱や乾燥によるひび割れや目すきを
起こしにくくするために。

直射日光

サッシまわりなど直射日光が長時間当たりますと、日焼けによる変色やひび割れが生じるおそれがあります。カーテンやブラインドで直射日光が当たらないようにしてください。

※銘木床・床造作材は天然木のため時間経過とともに変色します。その変化は太陽光を受ける条件や樹種によって異なります。ご了承ください。



ホットカーペットなど

この商品は床暖房やホットカーペットをそのままお使いいただいても、クラック(ひび割れ)が起こりにくい商品です。木質材料のため温度・湿度により、床材の継目に隙間が生じることがあります。これは木材本来の性質によるものです。※滑り止め機能付や滑り止め加工を施した製品(シート、カーペット、マット、ゴム等)をご使用になる時は、裏面材の成分が溶出して床材表面に付着したり、変色やつや変化させるおそれがあります。



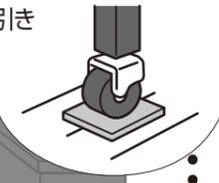
エアコンなど

エアコンや強制排気型の暖房装置などを連続使用する場合は、加湿器などで湿度を調整してください。望ましい湿度は45~70%です。



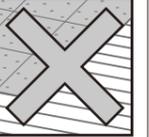
ピアノなど

ピアノなどの重量物を置く場合は根太や下地の補強をした上で、脚部にインシュレーターや小さな板などを敷き重量を分散させてください。また、移動させる時は、引きずらないでください。



床暖房使用時

床暖房ご使用の場合は、床暖房の取扱い説明書の使用上の注意事項をお守りください。使い方を誤ると低温やけどや床に釘を打つと思われぬ事故や故障の原因になることがあります。また、床暖房運転時にカーペットなどで表面を覆うと、放熱が妨げられ暖房効率が悪くなったり、熱がこもって床材をいためやすくなりますので、何も敷かないでください。



土足

上履用ですので土足での使用はお避けください。



大型冷蔵庫など

大型冷蔵庫や温風ヒーターの熱風が床に直接当たらないようにしてください。



シミ・フクレ・変色・汚れ
などを防ぐために。

水やしょう油、洗剤など

水やしょう油、各種薬品・アルカリ性洗剤(漂白剤・カビとり剤など)・酸性洗剤(トイレ用洗剤など)をこぼした場合は、すみやかにふき取ってください。放置すると表面の色あせまたはシミ・カビによる黒ずみ・くされなどの原因になります。



ペット

室内でペットを飼われる場合は、ペットのツメなどで床材の表面をキズつけるおそれがありますので、ご注意ください。ペットの排泄物を放置しますと変色の原因となります。固く絞ったぬれぞうきんですぐにふき取ってください。



タバコ

火のついたタバコを落した場合は、すぐに取除いてください。こげ跡がつくと、取れません。



キズ・へこみ・破損などを
防ぐために。

キャスター

この商品はキャスター付きいすおよび家具を使用しても破損したり表面にへこみキズが生じにくい床材ですが、キズやへこみがつかないということではありません。特に金属製や球形状のキャスターは表面を傷めやすいのでご注意ください。※金属性や球形状のキャスターはご使用をお避けください。キズやへこみが発生しやすくなります。



観葉植物

観葉植物などの鉢には、必ず水受け用の皿などを敷いてください。



毛染め剤、靴墨など

毛染め剤、パーマ液、靴墨などの汚れはとれません。使用する場合には、必ず床の上にビニールなどのカバーをしてください。



台所・洗面所周辺

台所や洗面所周辺など、水が飛び散るおそれのある場所ではマットを敷いて保護してください。



窓や掃き出しサッシ

窓や掃き出しサッシからの雨の吹き込みに注意してください。床材が濡れた場合は、すぐに拭き取ってください。



結露

結露による水滴などに注意してください。長期にわたり結露の水分が床に吸収されると、シミや波打ちが起こる場合があります。



いすの足など

いすの足にゴムキャップやフェルトなどをつけると床表面のキズつきを防げます。※マットなどの裏面がゴム製の物や、いすや家具などのプラスチック製の脚及び脚につける緩衝剤などは、材質によっては長期床面と接触していると、含有成分が浸透して色移りすることがあります。浸透して色移りすると除去できませんので、ご注意ください。



お手入れ方法

日常のお手入れについて

- 日常のお手入れは乾いた布でからぶきしてください。砂粒など硬いごみが付着したままふくと床材の表面をキズつけるおそれがありますので、ご注意ください。
 - 汚れがひどいときは固く絞ったぬれぞうきんでふき取ってください。その後乾いた布でふいてください。
 - シンナーなどの溶剤は使用しないでください。
 - 上記の方法以外でのお手入れはしないでください。
- ※木質床材は本質的に水気を嫌います。スチームを使ったお手入れや水濡れ、ワックスの塗布量が多いと、フクレやハガレ、変色などの原因になります。



ワックスがけについて

- ワックスがけをしなくても耐久性はありますが、ワックスがけをする場合は、木床用の樹脂系ワックス(リンレイ：ハイテクフローリングコート)をご使用ください。
- ご使用の際は直接床にまかず、布などにしみ込ませて薄くムラなく塗布してください。
- 気温が低いときにワックスを塗布したり、ワックス塗布面にお湯などをこぼすと、ワックスが白化する場合があります。白化した場合はワックスを除去してください。
- ワックスはくり剤は使用しないでください。表面材を傷める原因となります。
- ワックスの使用方法を誤ると、床材表面に異常を起こす場合がありますので、その他の使用方法については容器記載の使用法をよくお読みください。

虫害について

小さな穴があいて木の粉が出てくるなどの現象は、木部についた虫害と考えられます。万一発生した場合は専用薬剤を注入するなど早期対応が必要です。専用薬剤はホームセンターなどでお求めいただけますが、処理専門業者にご相談されることをおすすめいたします。

ホルムアルデヒドへの配慮をお願いします。

当社では商品から放散される化学物質の削減に努めていますが、日常的に通気や換気をこまめに行ってください。特に、新築住宅やリフォーム直後には十分な換気をお願いします。又、ホルムアルデヒドは高温になると多く放散される性質があります。夏場や長時間密閉した後は、特に気をつけてください。